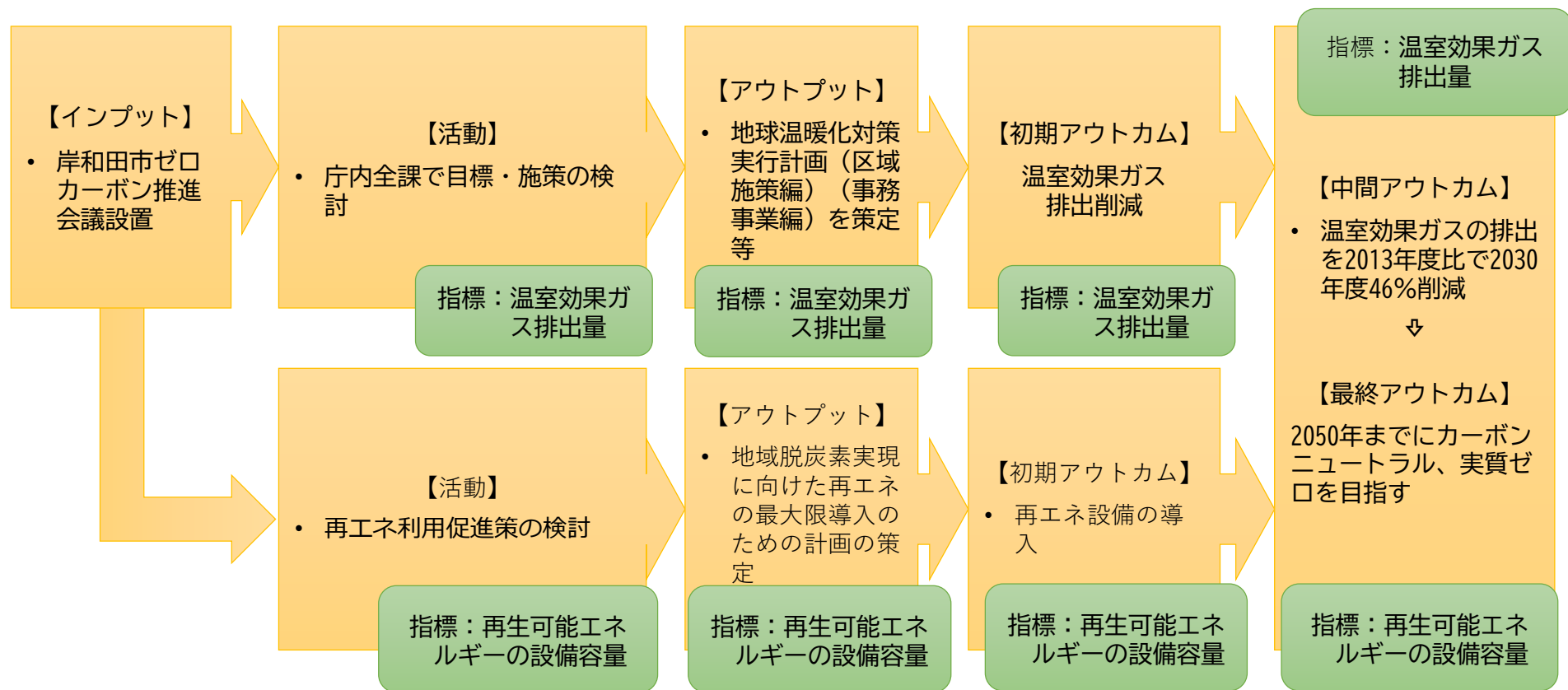


【R 5 年度】重点目標の取組・概要（取組名：カーボンニュートラルをめざす計画の策定・推進[地球温暖化対策事業]）

担当課（内線）	環境保全課（内線2507）	重点目標の方向性	未来志向の都市経営
重点目標	都市課題を解決する仕組みづくりの実現	行政の役割	広域的な視点をもって、時代に応じた施策を積極的に推進する
現状と課題		課題に対する取組の内容（めざす成果・期間・対象者・手法など）	
台風の大型化やゲリラ豪雨など自然災害の激甚化・頻発化が表すように、気候変動は、もはや将来の問題ではなく、既に私たちの身近な生活に大きな影響を与える気候危機ともいえる状況になっている。地球温暖化対策の必要性を、個人や企業、国などあらゆる主体が再認識し、地球温暖化対策を加速化させ、着実に実施していくことが極めて重要となっている。		【中期的(4～5年後)にめざす成果】 - 温室効果ガス排出を削減するための施策の検討、目標管理、検証を継続して実施し、温室効果ガスの排出を2013年度比で2030年度46％削減、さらに50％の高みに向けて挑戦し、2050カーボンニュートラルの実現を目指す。（温室効果ガスは、定率的に削減していくものではないため、2026年時点での目標の提示は困難） 【成果に向けての各年度の進め方】 （R 5）国の方針や、ゼロカーボンシティ宣言を踏まえて、本市の温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）の削減目標を設定する。 - 国等の委託関係補助金を利用し、地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画を策定する。 （R 6以降）温室効果ガス排出事業者としての市役所だけでなく、市民・事業者の取組を推進していく。 【R 5 年度の取組内容（期間・対象者・手法など）】 - 各課業務の見直し、設備改修、再エネ導入、市民・事業者への啓発など、可能なものから実施していくほか、各課が所管する計画・事業等において2050カーボンニュートラル目標を反映させていく。（実施可能なものについては、岸和田市ゼロカーボン推進会議等で検討していく予定） - 共通の問題意識を持ち、2050カーボンニュートラルへ向けた取組を持続可能なまちづくり・地方創生のチャンスに変えるため、全庁的な取組・意識改革を行う。	
R 5 年度の事業費（内訳）			
岸和田市地球温暖化対策実行計画策定等業務 10,592千円 ※特定財源：3,093千円（国交付金：地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業）			
R 6 年度以降の想定事業費（ランニング経費）			
（R 6）委託料 0円 （R 7）委託料 0円 （R 8）委託料 0円 担当課の役割について 担当課は岸和田市ゼロカーボン推進会議の事務局として、各課の事業（施策・取組）をとりまとめ、地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）、地域再エネ導入戦略を策定し、計画の進捗管理を行う役割となる。計画に記載される各事業（施策・取組）については、その事業を所管する各課が、適切な時期に予算を要求し、活用可能な補助金を調査し、事業（施策・取組）を執行し、国等の補助金請求の準備を行う。			
		取組の進捗・成果を測る指標	成果・指標が未達成の場合の取扱い
		市民1人当たりの年間温室効果ガス排出量 4.2t-CO2（2019）→3.9t-CO2（2030）	（R 6）前年度を踏まえ改善 （R 7）前年度を踏まえ改善 （R 8）前年度を踏まえ改善 （R 9）縮小

【R5年度】重点目標の取組・ロジックモデル（カーボンニュートラルをめざす計画の策定・推進）

ロジックモデル【事業立案時点】



その他（財源、他団体の状況、行政サービスとしての適正性について など）

【財源】

- 国交付金（地域脱炭素実現に向けた再エネの最大限導入のための計画づくり支援事業）補助率3/4
R5まで

【他団体の状況】

- 同様のモデルを他市等で実施し、一定の成果を上げている。

【R 5 年度】重点目標の取組・評価シート①（カーボンニュートラルをめざす計画の策定・推進）

担当課（内線）	環境保全課（内線2507）	重点目標の方向性	未来志向の都市経営
重点目標	都市課題を解決する仕組みづくりの実現	行政の役割	広域的な視点をもって、時代に応じた施策を積極的に推進する

■ 中期的にめざす成果に対する達成度



- ・ 温室効果ガス排出を削減するための施策の検討、目標管理、検証を継続して実施し、温室効果ガスの排出を2013年度比で2030年度46%削減、さらに50%の高みに向けて挑戦し、2050カーボンニュートラルの実現を目指す。

■ R 5 年度において実施・実現できたこと

- ・ 岸和田市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の改定による目標値の設定
- ・ 岸和田市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の策定による取組方針の設定

■ R 5 年度における達成度（当初の実施予定に対する達成度）



- ・ （R 5）国の方針や、ゼロカーボンシティ宣言を踏まえて、本市の温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）の削減目標を設定する。

■ 主な「取組の進捗・成果を測る指標」の状況

測定有無	指 標 名	単位	基準値（年次）	目標値（年次）	R 5 年度実績値
－	市民1人当たりの年間温室効果ガス排出量	t-CO2	5.4（2013）	2.7（2030）	
－	再生可能エネルギーの発電電力量	MWh	124,485（2021）	370,853（2030）	

【R 5 年度】重点目標の取組・評価シート②（カーボンニュートラルをめざす計画の策定・推進）

■ R 5 年度において実施・実現できなかったこと

- ・ 実現性の高い再生可能エネルギー導入手段の見極め
- ・ 効果的な省エネ手段の周知

■ 課題分析

- ・ 現状分析を行うための基礎データの不足
- ・ カーボンニュートラルの必要性に関する周知の不足
- ・ 各種取組の真の効果とリスクの情報不足

■ ロジックモデルの振り返り

- ・ 炭素の固定吸収の取組が反映されていない
- ・ 適応策（熱中症対策・防災等）が反映されていない

■ 次年度以降の予定・改善内容

- ・ 基礎データの入手、整備、分析
- ・ カーボンニュートラルの必要性に関する周知の強化
- ・ 各種取組の真の効果とリスクの情報把握